



感染性胃腸炎が流行中 ご注意ください!

令和4年4月27日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

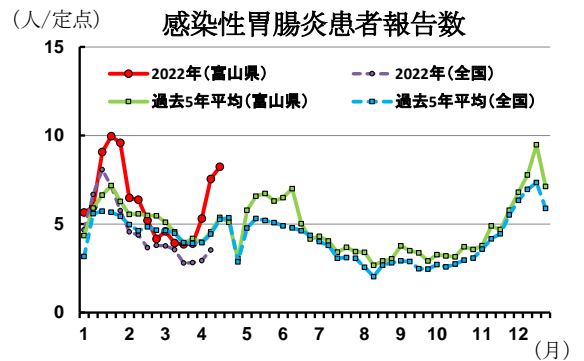
(令和4年第16週分・4月18日～4月24日)

(令和4年第17週分は令和4年5月6日(金)発行予定です。)

《インフォメーション》

●感染性胃腸炎

今週、県内の小児科定点における感染性胃腸炎の報告数は、定点医療機関あたり8.24人となり、先週(7.55)より増加しました(右図)。県内の報告数は4月に入ってから過去5年平均報告数より高い値で推移しています。感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの多様な病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。感染性胃腸炎の原因となるウイルスの病原体にはノロウイルスやロタウイルスなどが、細菌の病原体には病原性大腸菌、サルモネラ、カンピロバクターなどが含まれます。



ロタウイルスは、乳幼児の急性胃腸炎の主な原因ウイルスです。基幹定点医療機関ではロタウイルスによる感染性胃腸炎の検査診断例数を報告しています。2018/19シーズン以前には、2～5月をピークとしてロタウイルスが検出されていましたが、2020/21シーズン、2021/22シーズンの県内基幹定点でのロタウイルス感染症の報告はそれぞれ1例、0例でした。

ロタウイルスは糞口感染により伝播し、感染すると1～4日の潜伏期間の後、下痢や嘔吐がみられます。その後、重い脱水症状が数日続くことがあります。合併症として、けいれん、肝機能障害、急性腎不全、脳炎・脳症が起こることがあります。2020年10月からロタウイルスワクチンが乳幼児を対象として定期接種化されました。国内では2種類のロタウイルスワクチン(1価と5価)が承認されており、生後6週から2ないし3回の経口接種が行われます。ワクチン接種により重症のロタウイルス胃腸炎を予防することができます。

一般にこれから気温が上昇すると、細菌を原因とした感染性胃腸炎の報告数が増加します。帰宅後、排せつ後にこまめに石鹸と流水を使って手洗いをしたり、調理をする際に食べ物をよく加熱することを心がけるなどして予防に努めましょう。

《全数報告の感染症》

- 新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 855件(暫定値)
- 二類感染症 結核 2件(①80歳代、男性 ②80歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件(第15週診断分:30歳代、男性、O157、VT1VT2)
- 五類感染症 梅毒 1件(50歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	8.24(↑)	7.55
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52(↑)	0.31
3位	突発性発しん	0.45(↑)	0.24
4位	RSウイルス感染症	0.31(↓)	0.34
5位	咽頭結膜熱	0.14(↑)	0.10
6位	手足口病	0.07(↑)	0.00

○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第16週 令和4年4月18日～令和4年4月24日）

分類	疾患	今週報告分（第16週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市 ^{※1}	その他 ^{※2}	計
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	51	77	178	71	472 ^{※1}	6	855	2,345	2,153	5,952	2,233	13,811 ^{※1}	115	26,609
二類感染症	結核			1		1		2	1	2	12	6	14		35
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1		2
四類感染症	つつが虫病									1					1
	レジオネラ症								2		3	1	6		12
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1		2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症											1	2		3
	急性脳炎										2				2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								2		3		4		9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症												1		1
	侵襲性肺炎球菌感染症										1		2		3
	水痘（入院例）												1		1
	梅毒					1		1	1	1	4	2	13		20
	播種性クリプトコックス症												2		2
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1
	RSウイルス感染症			6		3		9	28	18	216	56	275		593
	咽頭結膜熱	1	1	2				4	21	14	106	7	35		183
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.25	0.33	0.25				0.14							
	感染性胃腸炎	21	20	80	24	94		239	317	370	884	324	1,001		2,896
	水痘					1		1		5	7	1	14		27
	手足口病					0.10		0.03							
	伝染性紅斑			2				2	1	8	44	3	47		103
				0.25				0.07							
	伝染性紅斑								1		3	1	1		6
	突発性発しん	1	1	4	1	6		13	10	9	44	12	31		106
		0.25	0.33	0.50	0.25	0.60		0.45							
	ヘルパンギーナ								37	7	21	1	6		72
	流行性耳下腺炎								1		2	1			4
	流行性角結膜炎								6	2	1				9
細菌性髄膜炎												1		1	
マイコプラズマ肺炎											1			1	
インフルエンザによる入院患者（※3）											3	1		4	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 県報道資料の判明日調査中は、公表日前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。 ※4 感染性胃腸炎（ロタウイルス）の令和4年第1～16週までの累積報告数は0人です。